

# 飼養管理と乳質

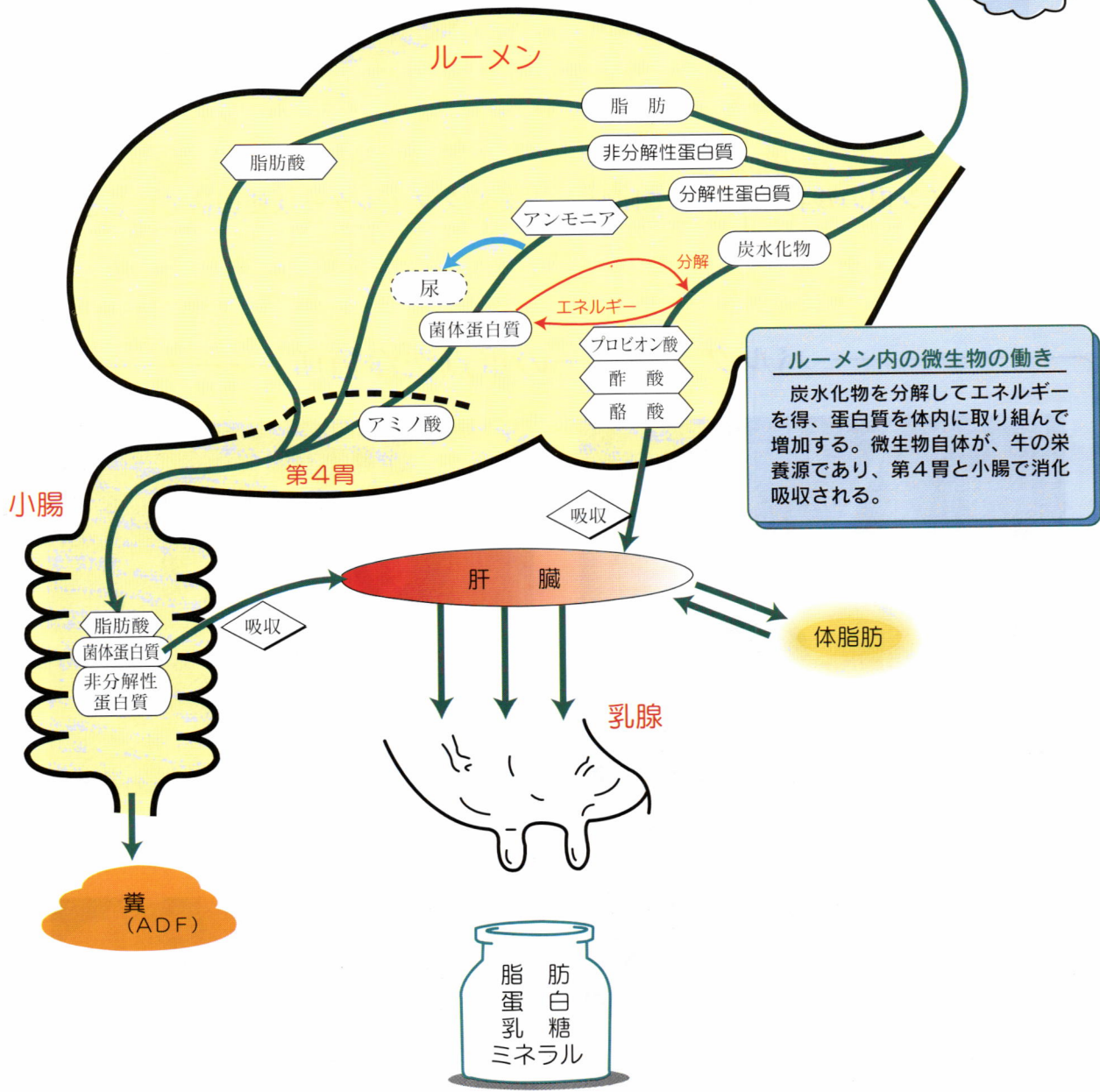
脂肪率や無脂固形分率は、栄養管理によって大きく左右されるため、ルーメン内の発酵を考慮した飼料給与が重要になります。

## 飼料

水分	灰分	脂肪	蛋白質		炭水化物	
			分解性	非分解性	非繊維性炭水化物 NFC 糖、デンプン、ペクチン	繊維性炭水化物 (細胞壁成分) NDF ヘミセルロース、セルロース、リグニン ADF

バイパス蛋白

消化しにくい



**ルーメン内の微生物の働き**  
炭水化物を分解してエネルギーを得、蛋白質を体内に取り組んで増加する。微生物自身が、牛の栄養源であり、第4胃と小腸で消化吸収される。

- 乳成分を高めるポイント**      ルーメンや小腸で吸収される蛋白質やエネルギーを増やすことが大切
- ①ルーメン内微生物の活性を高めること（菌体蛋白を増やす）
  - ②微生物を介さずに直接吸収される飼料（バイパス蛋白など）を給与すること
  - ③消化吸収量を増やすために、ルーメン内の通過スピードを速めること